

会 議 の 名 称	あま市歯と口腔保健推進協議会
開 催 日 時	令和5年3月29日（水）午後2時～3時15分
開 催 場 所	あま市甚目寺総合福祉会館 2階 ふれあいルーム2
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度歯科保健事業報告について</li> <li>2. 令和5年度歯科保健事業計画（案）について</li> <li>3. 歯と口腔保健計画の数値目標について</li> <li>4. 歯と口腔保健計画に関する取組について</li> </ol>
会 議 資 料	<p>次第 配席図 あま市歯と口腔保健推進協議会委員名簿 令和4年度歯科保健事業報告（資料1） 令和5年度歯科保健事業計画（案）（資料2） 歯と口腔保健計画の数値目標（資料3） 歯と口腔保健計画に関する取組（資料4）</p>
公 開 ・ 非 公 開 の 別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	1人
出 席 委 員	<p>渡邊委員、梅屋委員、加藤委員、藤井委員、安江委員、妙楽委員、 井村委員、野村委員</p> <p style="text-align: right;">(名簿順)</p>
欠 席 委 員	<p>富田委員、山田委員、溝口委員</p> <p style="text-align: right;">(名簿順)</p>
事 務 局	<p>村上市長、長谷川市民生活部長、吉川健康推進課長、杉藤主幹、 水谷歯科衛生士、井田歯科衛生士</p>

## 会議録（要旨）

### 1. 市長あいさつ

### 2. 会長及び副会長選出

会 長 歯科医師連絡協議会代表の渡邊委員に決定

副会長 あま市民病院管理者の梅屋委員に決定

### 3. 議題

#### （1）令和4年度歯科保健事業報告について

事務局説明（資料1）

#### （2）令和5年度歯科保健事業計画（案）について

事務局説明（資料2）

#### （3）あま市歯と口腔保健計画の数値目標について

事務局説明（資料3）

#### （4）あま市歯と口腔保健計画に関する取組について

事務局説明（資料4）

### 【質疑応答】

#### ○梅屋副会長

歯と口腔の健診が、3回から6回になって、対象人数が増えたことは素晴らしいことだと思います。18歳以上というのかなり人口があると思いますが、対象人数は本来何人ですか。

#### ○事務局

手元に資料がなく、すぐには答えられませんが、1回あたり60人くらいの定員を見込んでおります。以前は特定健診と一緒に実施しておりましたが、2年間コロナの影響で中止をしておりました。今回どれくらい受診者が戻るか分からなかったもので、まずは各地区で実施し、そのうち30・35歳健診と同日実施する日を、3回設定いたしました。

#### ○渡邊会長

後日で良いので全体像をお知らせください。

#### ○加藤委員

資料2の計画をみると、9、10、11、15番の回数が随時となっていますが、これは学校側か、当局側かどちらの都合でこうなったのでしょうか。

#### ○事務局

保育園、小学校については、要望をお聞きしてそれに応じて回数や対象者が決まりますので、年度が変わってから、新しく調整し、実施方法等を決めているため、随時と表記しております。

#### ○安江委員

資料3の数値 No5と6を見て興味深いのですが歯肉に炎症を有する人の割合が、小学3年生は27年度と比べるとぐっと上がっていますが、中学3年生になると逆にぐっと減っています。このあ

たり要因になるものを教えていただくとありがたいです。

それから本校では 6 月にいつも歯科保健講話をしていただいたり、歯の見方とかご指導いただいたりして、本当にありがたいと思っています。中学生は給食の後に歯をみがこうという音楽をかけて、毎日コロナの時でも感染に気をつけながら歯をみがいていますが、これは本当に大切なことです。中学生だと横着でみがなくなるかなと思いきや、結構真面目にやっています。あま市全体でそういう取組ができるとよいなと話しているところです。

#### ○事務局

出ている数字からの意見ですが、歯みがきをしている中学生が平成 28 年度から令和 3 年度にぐっと増えておりまして、また歯みがき指導では、鏡を見てみがくという指導をしている中学校もあります。一方で小学校ではコロナの影響で歯みがきをする児童が減ってしまい、自分たちが出向くことが減ったことも要因の一つではないかと思えます。

#### ○安江委員

コロナは非常に負担になりましたが、我々が何をやらなければいけないか、考える良い機会となりました。

#### ○妙楽委員

甚目寺東小学校で養護教諭をしている妙楽です。本校では、昨年度からバトンタッチ運動で歯科教育に力を入れて取り組んでおり、学校医の先生方や歯科衛生士の方と連携をして、子どもたちにとっても、教職員にとっても、意味のある歯科教育ができていると感じています。多分、あま市では今 3 校がそのバトンタッチ運動に携わっています。

またバトンタッチ運動じゃなくても何かの形で、全校で歯科保健ができるといいなと思っており、市としての取り組みがあると学校としても取り組みやすいなと感じましたので、これからもどうぞよろしくをお願いします。

#### ○渡邊会長

今の発言に対して、学校には歯科医師も参加させていただく機会も結構ありますが、先生方もバトンタッチとか、学校歯科医の先生も講話とか、一緒にやったださっています。コロナの関係で、回数が減ったり、縮小傾向にあたりしたので、歯科医師や行政が学校に入って少しずつ話しながら、何か進めていけることがあればなっているのは感じておりますので、今後またお願いします。

#### ○井村委員

民生委員の井村です。私たちは年に 1 回 65 歳以上の高齢者を対象とした、高齢者世帯の状況調査を行っております。その時に、お口の体操、お口を開けたり喉の詰まり予防をしたりとか、ちょっとした体操のかわいい絵がのった健康推進課からいただいた資料を届けています。私たちは対面で一人ひとり世帯ごとに顔を見て、言葉をかけてお渡しをするように心がけております。郵送ではなく民生委員は個別で調査に伺います。ですので、民生委員の皆さんはできるだけ言葉を添えてお話をしています。

今年も来月 4 月になると、包括センターの方から台帳を皆さんいただきますので、その台帳を持って、65 歳以上の高齢者のところに、伺っております。これは、渡邊先生とのきっかけがありまして、私たち民生委員ができることです。

いろんな施設に足を運ばれる健康な方は、出先で情報をいただけますが、家から出ない人、そういう家庭にも台帳調査に私たちは行きます。ということは、一番知って欲しい人のところに届ける

ことができます。こういう情報を知って、啓発できるということは、すごく私は良かったかなと思っています。予防が一番大事ですよと念を入れながら届けております。

○渡邊委員

民生委員という立場で、対面で実施しているということが今身に染みて分かりました。日頃の活動に感謝を申し上げます。

○野村委員

食生活改善推進員の野村です。私たちは年に2回ほど親子教室やおやつ教室等、食べることを中心に活動しています。ここの中でいろいろお話を聞いて、食べるには、歯が一番大切だと実感しており、令和5年度から保育園で栄養や食事の話をする予定ですが、歯に関したことも話すことができると正直思いましたので、今後その取組をやりたいと思います。

○渡邊委員

特に食育との関わりということで4ページのところにも書いてあります。よろしくをお願いします。

○藤井委員

薬剤師の藤井です。前回の会議の時に渡邊会長の方から、お薬手帳の持参について必ず持ってきて欲しいということをご指摘いただきましたので、会員の方にはそのことをお話して、お薬手帳を必ず持っていくようにという形で、ご協力させていただくようにしております。

○渡邊委員

内科、外科、眼科、整形外科でもお薬手帳は自分の為です。自分の体の為に受診時にはお薬手帳の携帯は必須です。本当に藤井委員ありがとうございました。

○加藤委員

市民の皆さんに、どのような方法で歯と口腔、入れ歯等が大切か、歯科技工士会員と一緒に考えて、年に1度前期歯の健康センターという場で、歯科矯正、歯並びを改善する装置と模型をテーブル上に置いて、親御さんたちと子どもと一緒に会話しながら、歯並びの説明をしております。

どこの業界でも同じだと思いますが、新しい歯科技工士が育たないというのが現状です。歯科医師会、歯科技工士、歯科衛生士とチームになって、医療に携わっていかないと、必ず歯科の分野が衰退するという状況になっているので、最近では、あま市だけではなく、近隣の市町村に行って、歯科技工士のPRをしています。

○梅屋副会長

あま市民病院の梅屋です。皆さんご存知のことだと思いますが、いよいよCOVID-19、新型コロナウイルス感染症が2類から5類のインフルエンザ相当に5月8日から、切り替わっていきます。そうすると、医療機関も今までと突然対応を変えるわけにもいかず、適切に医療をしていかなければならないわけですが、今回の協議会においてはその類に変わった後も見据えた計画だということで、ウィズコロナだった頃からアフターコロナにいか変わるかというようなお話だったと思います。

コロナだから仕方ないと保守的だったところを、考え方を考えるべき時期になっているというのは、病院も同じです。今生みの苦しみみたいなものがありますが、口腔と全身疾患は非常に密接に

関係していることが分かっている、啓発活動について非常に積極的にされていると思いましたが、先ほど井村委員がおっしゃったように、啓発文書の渡し方によっても変わると思いました。

逆に言うと、啓発文書を1万件以上出している、頑張っていると思いましたが、やりようによってはもう少し効果が出るかもしれないというようにも思いました。

病院としても、一時中止していた市民公開講座等を、歯科医師会と連絡、連携して再開し始めていますが、特に糖尿病の患者さんの口腔衛生が非常に大事なことが分かっています。糖尿の患者さんの教育は合併症、栄養、運動、薬の話等沢山あり、多岐にわたります。その中に歯科にもかかりましようという話が加わってきてルーティンになっています。感覚としては、大体3人に1人ぐらいは、かかりつけの歯科の先生を持ってみえます。一方で何年も歯科医院には行ってないという方もみえます。

私たちは病院の中での医療だけではなく、健康づくりにも協力できればと思っており、行政とも連携して、ヘルスプロモーションをしていきたいと思っています。

#### ○事務局

令和5年度から市役所の組織が一部変更されることに伴い、私ども健康推進課は新設される子ども健康部に所属し今までの市民生活部から子ども健康部が変わるということになります。所属する部局が変更されますが、健康推進課として所管する事務については変更ございませんので、これまで通り母子保健事業、成人保健事業、予防接種事業、歯科保健事業、そして病院事業管理の事業については、このまま所管します。5月8日から新庁舎への移転もございますが、健康推進課はこのまま、3センターでやっていきます。本課についてはこの甚目寺総合福祉会館になります。

#### ○渡邊会長

貴重なお時間とご意見ありがとうございました。これであま市歯と口腔保健推進協議会を閉じさせていただきます。

#### ○事務局

お帰りの際は交通事故等に気を付けてお帰りください。ありがとうございました。